

保護者 様

倉敷市立中洲小学校  
校長 小松原 祥司

## 地震発生時の対応について（お知らせ）

平素より本校の教育活動の推進に対しまして、ご支援とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、地震発生時に本校では次のように児童の安全を確保しますので、ご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。また、学校からの緊急連絡は、倉敷教育情報発信システム「保護者連絡帳」でお知らせします。未登録の方は、登録をお願いします。

## 記

## 児童が学校にいるときに地震が発生した場合

## 「震度5弱以上のとき」

発生した時点でただちに身を守る行動をとり、安全な場所へ避難します。時間がかかっても保護者が引き取りに来るまで、児童は学校で待機します。全ての教育活動を一度中止し、倉敷市教育委員会と協議の上、学校を再開します。基本的に「保護者連絡帳」にて連絡しますが、システムダウンもあり得ますので「震度5弱以上の時は引き渡し」「再開の連絡があるまでは家庭待機」とご判断ください。

※ 状況によっては「イオン倉敷」に避難します。引渡し場所もイオン倉敷になる場合があります。

## 「震度4以下のとき」

発生した時点でただちに身を守る行動をとり、状況により避難することがあります。校内及び通学路の安全を確認したのち、原則として通常通り授業を行い下校させます。引き渡しをしたり、教職員付き添いで下校したり、いつもより早めに下校したりする場合があります。「保護者連絡帳」を確認してください。

## 児童が家庭にいるときに地震が発生した場合

## 「震度5弱以上のとき」

原則として自宅待機とします。（学校からの安否確認を行います）自宅において、余震や災害情報に注意し、家族の安全確保を最優先してください。その後の対応については、学校からの連絡（保護者連絡帳等）をお待ちください。

## 「震度4以下のとき」

自宅周辺及び通学路の安全を確認したのち、原則として登校します。

## 児童が登下校中に地震が発生した場合

## 「震度5弱以上のとき」（児童が経験したことの無い大きな地震と感じたとき）

- (1) 安全を確保する行動をとり、揺れが収まったら周囲の安全を確認する。
- (2) 自宅か学校の近い方へ避難する。（自宅に人がいない場合は、近隣で大人がいるところへ）
- (3) 自宅に戻った児童は、自宅待機とします。（学校から安否確認をすることがあります）
- (4) 登校した児童、学校に戻った児童は、保護者が引き取りに来るまで、学校で待機させます。時間がかかっても保護者が迎えに来るまでは、学校でお預かりします。

## 「震度4以下のとき」

安全を確保する行動をとり、揺れが収まったら周囲の安全を確保し、登校・下校をします。校内及び地域・通学路の安全を確認したのち、原則として通常通り授業を行い下校させます。状況に応じて、教職員付き添いで下校したり、いつもより早めに下校したりする場合があります。

## ◎ 安全を確保する行動をとる

揺れを感じたら、ブロック塀や高い建物、川岸からすぐ離れる。ランドセルや手提げ袋等で頭部を守る。建物の中にいる場合は、部屋の中央で身をかがめ、机等の下に避難する。

※ 自宅周辺が危険な状況にある場合は、上記の限りではありません。保護者の方は、児童の安全確保を最優先し、適宜、安全第一に避難させる、登校を遅らせる等の判断をしてください。

※ 災害発生時には、緊急連絡用回線の確保が必要なため、電話でのお問い合わせはお控えください。